

麻生区区民会議 第14回若い世代が住みやすいまちづくり部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成28年1月20日（水）午後3時00分～午後5時00分
- 2 開催場所：麻生区役所第4会議室
- 3 出席者：[専門部会委員]金光委員、白井委員、志村委員、菅野委員、高橋委員、吉垣委員
（欠席）石井委員、上野委員、梶委員、山田委員
[事務局] 企画課 井上課長、白石担当係長、佐藤 [コンサルタント] 佐藤
- 4 傍聴者：1名
- 5 議 事

（1）調査審議課題の検討について

①提言の内容について

【主な意見】

- ・提言の内容について、今のままでは提言をされても、区役所などは具体的にどうやってアクションを起こしたらよいか分からない内容になっている。何かこういったことができるなど、方向性を探る必要がある。
- ・環境整備という視点で、環境、生活、アミューズメントのこの3つのテーマに絞って考えるとどうか。
- ・環境であれば、過疎化が進みいろいろな地域で空き家が増え環境が不安定になっていくが、空き家の対策を検討し、それを穴埋めしていくことで環境が活性化する。
- ・生活としてみた場合は、生産年齢を対象とした場合、育児の面について、麻生区にはない部分について、育児コンシェルジュなどを検討するとよいのでは。
- ・アミューズメントの場合は、現在芸術のまちが盛んであるが、芸術についての認識は人によって違う。若者達を対象にし、興味を持ってもらうには、自主的に参加できる環境づくりをして、意識を持ってもらうことが必要ではないか。
- ・麻生区は住みやすいまちだということを前提に、充実すべきことを検討する必要がある。
- ・キャッチフレーズについて、今までの審議では「いなかのある都会」の1つしか例を挙げていなかったが、調査を進める上で、麻生区は住みやすいまちということが分かってきたので、若い世代が住みやすい、生活しやすいといった例を挙げてよいのではないか。
- ・区のHPを検討する上で、麻生区ならではの、といった感じがあるとよい。
- ・子育てについて、相談できる場所がない。離乳食から替わったときの食事の量などについて、本当に悩んでいる人がいる。今まではそういったことも祖父母に聞くことができたが、核家族化の影響ですぐに相談できない。
- ・相談をするにも、やはり専門家に聞きたいという意見がある。横浜市では専門の相談員がいて、そこに相談することができる。
- ・緑が多いという結果が出たが、緑に触れる機会が必要ではないか。
- ・公園数や緑が多いが、1日そこで過ごせる場所というのではないのではないか。
- ・王禅寺ふるさと公園が大きく、日中は子育て世代がお弁当を持参して1日を過ごしている姿をよく見かける。
- ・公園や緑地が多く緑について充実はしているが、しかし、それは生活を豊かにするものにはなっていない。「資源」の活かし方を考える必要がある。

- ・イメージとしては、緑や農、治安が良い、利便性がよい、子育てがしやすいなどの各項目を花びらに例え、それを繋げる中心となるものが必要であり、そういった仕組みを考えていくことが必要である。
- ・空き家に安く住めるといったことについても、様々な団体や人同士の交流、そういった仕組みづくりが必要。
- ・住みやすさ（魅力）を知ってもらう（PR不足）ことと足りない部分を充実させることが重要だとわかったが、どのようにして行うのか。現在の区の体制で可能なのか。
- ・芸術や音楽の発表が数多く麻生区では展開されているが、そのプロがやっている活動についてのテーマが見えてこない。また、認識を上げるには、市民参加がもっとあってもよいのではないか。
- ・麻生区のHPを充実とあるが、いくら充実をさせても見てもらえないのでは意味がない。企業でも大学でもそうだが、見てもらうための検討が必要。見てもらうために、誰に向けてPRするのか、またPRする相手によっても方法を変えないといけない。
- ・今までの議論でもよく出てきたが、麻生より、新百合の認知度の方が高いため、新百合をアピールする方がよいのでは。
- ・現在ある魅力を再認識させる「方策」を示すことと、各主体が、この「方策」（方向）に基づいて、連携、活動を行うことが必要だが、方策の内容や示し方（PR）、連携・活動に向けた具体的な動きについて、実際に委員からの意見があるとよい。
- ・麻生区は商業都市ではなく、文化都市として発展してきている。
- ・それぞれの魅力のレベルは決して低くなく、全体的に高いのではないか。
- ・魅力をPRしていくために、現在の区の団体や関係者が皆で同じ方向性を向いていることが重要ではないか。また、そういった団体を集め、協議会等を開き、具体的な動きを検討するのはどうか。
- ・麻生区で区民まつりが毎年開催されているが、テーマや目的が分からない。こういった区の一大会事に「麻生区の魅力をPRする」といったことをテーマにしてもらい、開催してもらえないか。
- ・このような魅力をPRすることを各種団体にテーマとしてもらい進めてもらうための体制（組織）・活動の実施が必要だが、オーガナイザーがいない。誰がやるのか検討しなければいけない。
- ・そういった検討について、シナリオを作り、関係団体に集ってもらい必要性や方向性を知ってもらうため、5月頃にフォーラム的に立ち上げてみるのはどうか。

【決定事項】

- ・次回部会までに具体的な提案を提出する。

②フォーラムについて

事務局から当日の実施体制について説明。マイク回しやタイムキーパーなどメインと関わる役割を市民活動部会が行い、受付や会場案内を若い世代部会が担当する。

（２）次回について

- ・本日の議論を踏まえ、まとめた提言の内容について、検討する。
- ・フォーラムの内容について、検討する。

以 上